

株主メモ

証券コード	4951
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の基準日	剰余金の配当は毎年3月31日現在の株主に、また中間配当を支払う場合は毎年9月30日現在の株主にそれぞれお支払いいたします。
株主名簿管理人および特別口座 口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
特別口座に関する事務取次所	（みずほ信託銀行株式会社 本店および全国各支店） （みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店）
郵便物送付先 お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324(フリーダイヤル) 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日を除く)
単元株式数	100株
公告方法	日本経済新聞

〈お知らせ〉

■株式のお手続きについて

住所変更等のお手続きは、お取引のある証券会社にお申出ください。

なお、特別口座の株式に関するお手続きおよび未払配当金のお支払いにつきましては、上記のお問合せ先にお申出ください。

■上場株式配当等の支払に関する通知書について

租税特別措置法の平成20年改正(平成20年4月30日法律第23号)により、平成21年6月にお支払いする配当金について株主様宛に「支払配当金額」や「源泉徴収税額」等を記載した「支払通知書」を通知することとなりました。配当金を配当金額収証にて受取られる株主様は来年の確定申告手続きに合わせて平成21年末～平成22年初頭頃に「支払通知書」を送付いたしますのでご覧ください。

(なお、口座振込を指定されている株主様は配当金をお受取の際に送付されている「配当金計算書」が「支払通知書」となりますので、引き続き確定申告の際の添付資料としてご使用ください。)

■株主様のご住所・お名前等に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前等の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部または一部をほふりが指定した文字またはカタカナに変換して、株主名簿に記録いたしております。

このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前等として記録されている文字については、お取引の証券会社等にお問合せください。

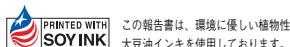
当社ホームページ「IR情報」

<http://www.st-c.co.jp/ir/>

当社ホームページでは、機関投資家や個人投資家の皆様に、当社の経営内容や将来展望、経営理念や財務諸表・適時開示情報等をより深くご理解いただくためにIRのページを設けております。



ご希望の方にIRメールの配信サービスを行っております。



この報告書は、環境に優しい植物性大豆油インキを使用しております。

第62期

ひよこReport

2008年4月1日から2009年3月31日まで



〒161-8540 東京都新宿区下落合1-4-10 TEL. 03-5906-0731 (代表)



日頃は大変お世話になり、ありがとうございます。

この4月から、2年ぶりに社長に復帰いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

株主の皆様には、社長交代の経緯と弊社の近況ならびに今後の方針につきまして、ご報告申し上げます。



はじめに

昨今、「100年に1度の経済危機」と言われておりますが、危機の最中にあった昨年末から、私は悩んでいました。

取締役会は2年前の2007年4月に当時50歳の小林寛三を社長に選任したばかりでしたが、時代の変化のスピードは凄まじく、小林社長が社長職に就いて間もなく、次から次へと難問が降りかかってきました。

小林社長の掲げたスローガンは「チームワーク経営」でしたが、「トップダウン経営」に慣れた社員は戸惑い、会議が増え、決定に時間がかかるようになってきました。

平時であれば問題はなかったと思いますが、「100年に1度の危機」です。私は小林社長と相談し、社長復帰を決断いたしました。

弊社は「委員会設置会社」であり、社外取締役5名、社内取締役3名と、社外取締役の力が圧倒的に強い会社ですが、取締役全員の賛成を得て、社長復帰が決定しました。

現在、小林寛三は専務として、主としてグループ事業戦略・海外事業戦略および経営上重要な個別案件を担当しております。

私にとりましては、3回目の社長就任です。

1回目は、1992年に経営不振の米国法人の社長として整理売却をしました。米国人100名に対し、日本人は私1人という状態でしたが、無事撤退することができました。

2回目は、1998年にエステーの社長に就任しました。

就任当日の株価は364円でしたが、約7年後(2005年12月)には2,380円まで上昇しました。

日米の経営体験を踏まえ3回目の就任の今回、この経済危機を「100年に1度のチャンス」に切り替えたいと考えています。

弊社の近況

2009年3月期は、残念ながら「4.5%の減収と16.9%の減益(純利益)」となりました。

第一の要因は、原材料価格の高騰です。

第二は、消費低迷と天候要因による売上不振です。特に、暖冬によるカイロの売上減が響きました。

第三は、海外の売上高が他社と同様に減少しました。

しかし、その中でも、米国市場は売上を伸ばしております。また、ロシアや中南米等の弊社にとっての新しい市場でも売上を伸ばしております。

そのような消費低迷のなかであっても、新製品は順調でした。例えば、弊社が最も注力しておりますエアケアの分野では、電子式の「自動でシュバット消臭プラグ」がヒットいたしました。

今後の方針

私は今日の経済危機を、「強くて速い会社」にするためのチャンスだと前向きに考えています。

それを実現するために、①絞り込みと集中、②世にない商品の開発、③スピード経営、この3点を基本的な戦略として考えて

います。

具体的には、次の点です。

まず第一に、「現場革命」です。リーダーシップとボトムアップの融合を図っていきます。

第二に、「デザイン革命」です。デザインは、弊社の最大の未活用分野だと思い、注力していきます。

第三は、「競争のルールを変えること」です。「価格」ではなく、「世にない商品」で勝負していきます。

第四は、「人間らしい会社」です。ミュージカル「赤毛のアン」を、全国主要都市で毎年上演しておりますが、11年間で累計16万人を招待しました。

また、企業統治の面では、この6月の株主総会で社外取締役を5名から6名へ、社内取締役は従来どおり3名にすることになりました。(弊社は5年前より「委員会設置会社」です。)

配当金につきましては、当期は前期同様22円とさせていただきます。株主還元につきましては、引き続き積極的に取り組んでまいります。

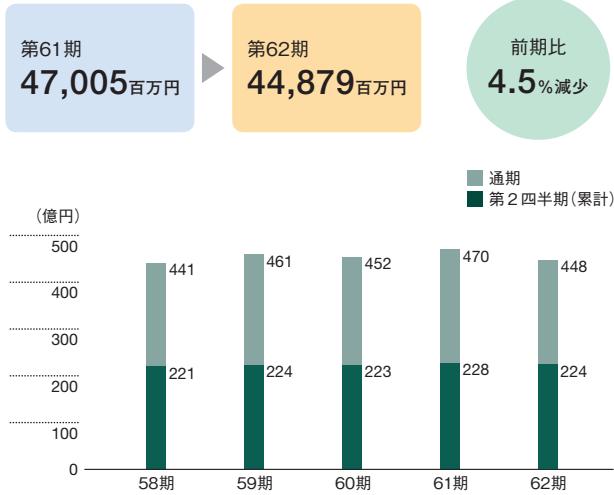
当期は「減収減益」と不本意な結果に終わりましたが、今回の経済危機を前向きに捉え、「強くて速い会社」にするよう、全社員一丸となって前進いたします。

一層のご愛顧ご支援をお願いいたします。

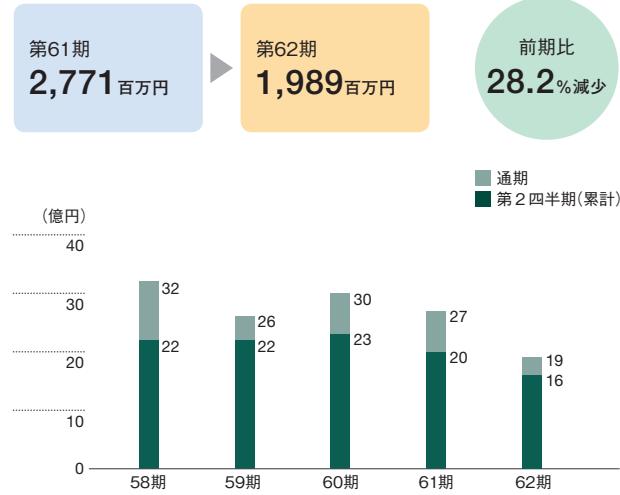
取締役会会長兼代表執行役社長

鈴木 喬

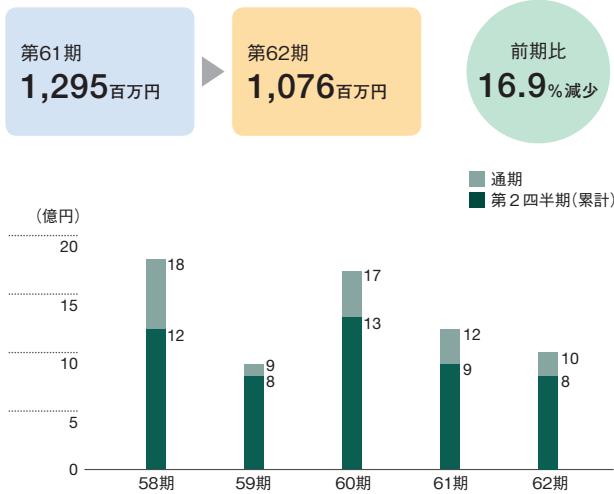
売上高



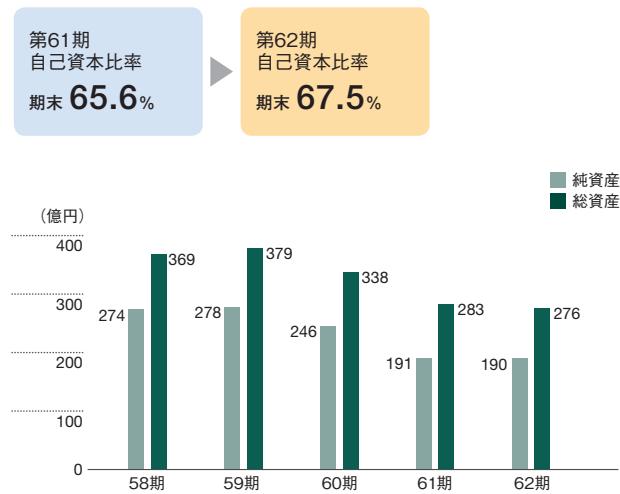
経常利益



当期純利益



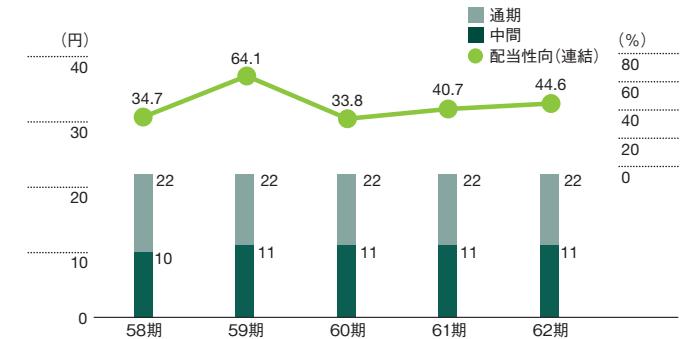
純資産・総資産



株主還元は、「配当政策」「株主優待」「自己株式の取得」の3つを基本方針としております。「配当政策」は、安定配当を基本方針としながら業績に連動した配当政策を進めていく考えです。「株主優待」は、当社事業への理解と長期保有の株主様の増加を図ることを目的としております。「自己株式の取得」は、株主価値の向上・資産のスリム化等を目的に進めております。

配当について

当社の配当は中間と期末の年2回、実施しております。当事業年度の期末配当については、当期純利益の状況や株主利益の状況を考慮し、1株当たり11円の配当を実施いたします。なお、年間配当金としましては、1株当たり22円(うち中間配当11円)・配当性向(連結)44.6%の配当を予定しております。



株主優待について

当事業年度期末の株主優待は、割当基準日(3月末日に当社株主名簿に記録)に当社株式を1,000株以上保有されている株主様へ3,000円相当の、また100株以上1,000株未満保有されている株主様へ1,000円相当の自社製品詰め合わせを送付させていただきます。なお、お届けは6月中旬を予定しております。



1,000株以上株主様向け【基準日】3月・9月(年2回)

3,000円相当の製品詰め合わせ
消臭プラグ(すみきった森林の香り)／エアウォッシュ収納空間用(引き出し衣装ケースタイプせっけんの香り)／ムシューダ(1年間有効引き出し衣装ケース用24個入)／ドライペットコンパクト／脱臭炭(下駄箱用こわけ)／ウルトラパワーズ 洗たく槽クリーナー／ファミリービニール薄手指先強化手袋



100株以上1,000株未満株主様向け【基準日】3月のみ(年1回)

1,000円相当の製品詰め合わせ
お部屋の消臭力(寝室用アロマカモミール)／ドライペットコンパクト／ウルトラパワーズ 洗たく槽クリーナー／ファミリービニール薄手指先強化手袋

2009年春の新製品においては、お客様の声や新しい切り口を取り入れることで「身近なイノベーション」を実現しました。お客様のニーズに応えた“世にない商品”をお届けすることにより、さらなるマーケット拡大を図ってまいります。

**デザインを一新。寝室用も新たに登場。
「お部屋の消臭力」寝室用アロマカモミール**

初年度
販売目標 「お部屋の消臭力」シリーズ 計 **1,700**万個

【発売日】2009年3月20日
【価格】税込み441円(税抜420円)

特徴

強力・長持ちタイプの消臭芳香剤として好評いただいている「お部屋の消臭力」が、新デザインになりました。インテリアに溶け込みやすいシンプルなデザインをより進化させ、香りをイメージしたバックラベルが見えるクリスタルウィンドウボトルを採用、また本体下部のパッケージデザインが残せる仕様となりました。さらに、用途提案シリーズとして、これまでの〈タバコ用ミント〉、〈タバコ用オレンジスカッシュ〉に加え、新しく〈寝室用アロマカモミール〉の香りが登場。寝室のニオイの一因である“汗のニオイ”の消臭に効果的な香りとなっています。植物抽出の消臭成分とミネラル消臭成分の力で強力に消臭し、ほのかな香りが空間に広がります。当社の「消臭力」シリーズは、2000年の「トイレの消臭力」発売以来、「お部屋の消臭力」、「トイレの消臭カスプレー」とブランド展開してまいりました。現在ではシリーズ全体で年間販売4,000万個を突破するメガブランドへと成長、前年を上回る売上で推移し、お客様からも高い評価をいただいております。



開発者の声

「お部屋の消臭力」は、強力な消臭効果だけでなく、インテリアになじむシンプルなデザインが多くのお客様に支持されています。より立体感のあるデザインを実現するクリスタルウィンドウの採用やフィルムデザインの変更により、さらにデザイン性を追求し、お客様の支持拡大を目指してまいります。「寝室用アロマカモミール」は、特定の場所・ニオイに対処する新たな用途提案シリーズです。お客様のアンケートでは、「ニオイで困っている場所」として約25%の人が“寝室”を挙げているものの、実際に寝室に消臭芳香剤を使用している人は16%にとどまっています。寝室専用の商品の発売により、潜在ユーザーを掘り起こせるものと考えております。

**片手で簡単！ワンプッシュ計量キャップを採用
「FRESH-UP浸透ジェル」**

初年度
販売目標 計 **300**万個
(本体:100万個/つめかえ:200万個)

【発売日】2009年3月20日
【価格】オープン価格(店頭実勢価格/本体:税込み500円前後、つめかえ:税込み400円前後)

特徴

「FRESH-UP浸透ジェル」は、素早く溶けて洗剤残りの心配がないジェルタイプの食洗機専用洗剤です。酵素と浸透成分の力でごはん・油・卵などの汚れを強力に洗い上げ、気になるニオイも消臭。本体には、片手で簡単に計量できるワンプッシュ計量キャップや、シンク回りにスッキリと置けるスリムボトルを採用し、使いやすさも追求しています。



開発者の声

「使用してみたい食洗機専用洗剤ランキング」(当社調べ)において、①洗剤が簡単に投入できる(37.3%)、②洗剤が溶け残らない(36.4%)、③計量が簡単(26.4%)がベスト3を占めました。こうした消費者のニーズに対し、「使いやすさ」「保管のしやすさ」「溶け残りの不安解消」を重視して開発された商品です。

**専用商品で、押入れの湿気ケア
「ドライペット すのこ・すきま用」**

初年度
販売目標 **40**万個

【発売日】2009年2月12日
【価格】オープン価格(店頭実勢価格/税込み560円前後)

特徴

押入れの湿気対策に新たに登場した「ドライペット すのこ・すきま用」は、すのこの下や押入れのすき間などに場所をとらずに置くシートタイプの除湿剤です。薄くて長い形状のため、湿気の気になる奥まで簡単に挿入することができます。1~2カ月効果が持続し、湿気を吸い取るとゼリー状となるため、除湿効果がひと目でわかります。



開発者の声

当社の調査(20~60代の主婦を対象)によると、すのこ使用率は34%で、このうち約半数が除湿剤を併用しています。また、除湿剤の使用場所では、押入れが第1位(80%強)と圧倒的に多く、こうした押入れへの湿気対策ニーズに対応するべく、専用商品を発売することで、さらなるお客様満足の向上を目指してまいります。

宣伝活動

明るくハッピーなCMで世の中の不況を吹き飛ばします！

CM総合研究所による「平成20年度CM好感度白書／日本のベスト・アドバイザー2008」において、当社が「CM好感度の獲得効率トップ50社」の第20位にランクインしました。これは2008年に効率よく消費者の好感を捉えた企業として全2,019企業から選出されたものです。なかでも、世の中の不況を吹き飛ばすようなハッピーな世界を追求した「消臭力」CM「気分はLucky！」篇は、多くの消費者に共感していただき、好感度の高いCMとして高い評価をいただきました。また、「ムシューダ」のCMでは、「ムッシュ熊雄」という名前のクマのキャラクターが登場するユーモラスな展開が話題となり、08年10月の好感度調査*では高ランクの人気を獲得しました。また、話題のCMと店頭における販促活動を連動させることによって、売上に貢献しております。

今後も、たくさんの人が笑顔になるようなCMを制作し、効果的な宣伝活動に取り組んでいきたいと考えております。 *出典：CM総合研究所 10月4日調べ CM好感度調査 総合ランク12位(全3,717CM中)



消臭力CM「気分はLucky！」篇



ムシューダCM「歯医者」篇

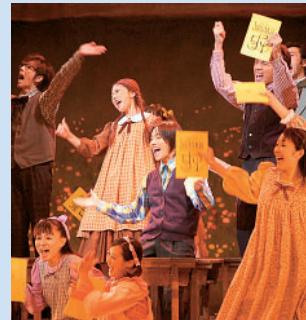
TOURS ミュージカル「赤毛のアン」

“2万人の鼓動 TOURS ミュージカル「赤毛のアン」”

総勢2万人のキャスト、スタッフ、そしてステージを観にきてくださるお客様が一体となって楽しめる、全席無料招待制の“2万人の鼓動 TOURS ミュージカル「赤毛のアン」”の公演を、今夏も全国主要8都市で開催いたします。主人公のアン役には今年で3年連続となる歌手の島谷ひとみさんを起用。さらに演技に磨きがかかった島谷さんの演じる「アン・シャーリー」にご注目ください。

また、「ミス・サイゴン」「レ・ミゼラブル」などを担当した山口琇也氏が音楽監督するなど、ミュージカル界を支える巨匠達が集結し、本格舞台を作り上げます。

ホームページでは、1,000組2,000名をご招待する「チケットプレゼントキャンペーン」を実施しているほか、全国オーディションや制作発表会、キャスト情報など、本公演当日までの最新情報を随時公開しておりますので、ぜひご覧ください。



2008年 公演風景

100組200名の株主の皆様を「赤毛のアン」へご招待

株主優待品に同封いたしましたアンケートハガキにお答えいただいた方の中から抽選で100組200名の株主の皆様に、今年のミュージカル公演ご観覧ペアチケットをプレゼントいたします。(締切：2009年7月3日(金)必着)

“2万人の鼓動 TOURS ミュージカル「赤毛のアン」” HP <http://www.st-musical.com/>

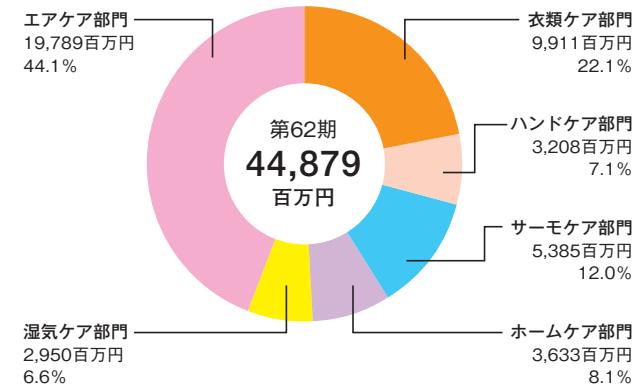
営業の経過及び成果

当期の連結業績につきましては、昨年後半からの金融危機による雇用・所得環境の悪化に伴う消費者の生活防衛意識が強く、また、暖冬の影響でサーモケア(カイロ)部門の売上が減少したことなどにより減収となりました。

利益面につきましては、引き続き製造部門を中心として製造コストの削減に取り組み、また、マーケティング費用をはじめとする販売費及び一般管理費の圧縮に努めましたが、資材価格が高止まりしている影響を受け減益となりました。

これらの結果、売上高は448億79百万円(前期比4.5%減)となり、営業利益は24億92百万円(前期比22.6%減)、経常利益は19億89百万円(前期比28.2%減)、当期純利益は10億76百万円(前期比16.9%減)となりました。

部門別売上高構成比



セグメント別の状況

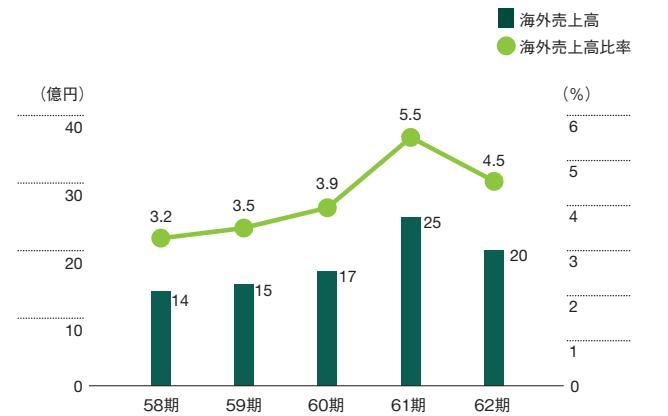
防虫・衛生関連事業の売上高は185億6百万円(前期比5.2%減)、営業利益は17億20百万円(前期比7.2%減)と減収減益となりました。

家庭環境関連事業の売上高は263億72百万円(前期比4.0%減)、営業利益は7億72百万円(前期比43.4%減)と減収減益となりました。

海外の状況

海外の状況につきましては、米国等において消臭芳香剤・除湿剤等が好調に推移したものの、欧州において金融危機の影響で業務用手袋が不調だったことなどにより、海外売上高比率は4.5%(前期比18.3%減)となりました。

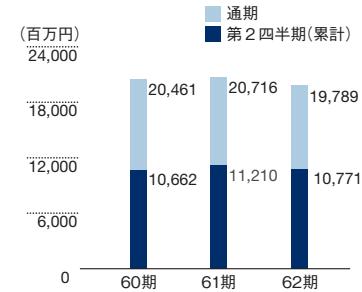
海外売上高の推移(連結)



家庭環境関連事業

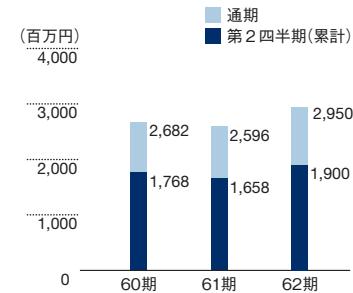
エアケア(消臭芳香剤)部門

エアケア部門の売上高は、197億89百万円(前期比4.5%減)と減収となりました。当部門につきましては、コアブランドである「消臭力」や「脱臭炭」が売上を伸ばした他、新製品「自動でシュパッと消臭プラグ」も売上高の伸長に寄与しましたが、その他既存品の売上が低調に推移した結果、売上高は減少いたしました。



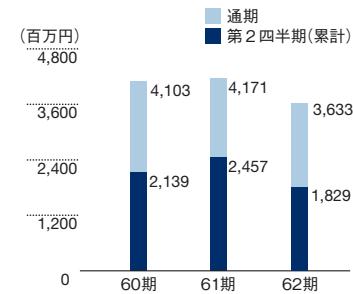
湿気ケア(除湿剤)部門

湿気ケア部門の売上高は、29億50百万円(前期比13.6%増)となりました。当部門につきましては、取扱い店舗数の増加などにより、「ドライペットスキット」を中心に売上が好調に推移し、売上高に寄与しました。



ホームケア(その他)部門

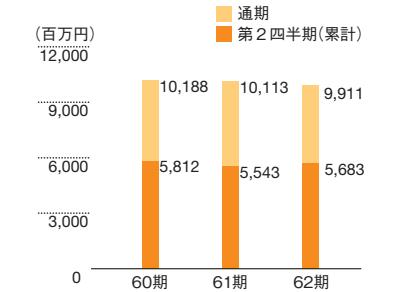
ホームケア部門の売上高は、36億33百万円(前期比12.9%減)となりました。当部門につきましては、花粉症対策やインフルエンザの予防を背景とした「ネクスクエア マスク プロ仕様」やお米の虫除け剤「米唐番」等が売上を伸ばしましたが、前年に販売受託契約を終了した食器洗い機専用洗剤の売上減少額を前期発売の「FRESH-UP」の売上伸長でカバーできなかったことなどにより、売上高は減少いたしました。



防虫・衛生関連事業

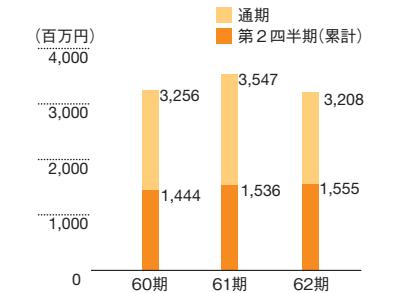
衣類ケア(防虫剤)部門

衣類ケア部門の売上高は、99億11百万円(前期比2.0%減)と減収となりました。当部門につきましては、コアブランド「ムシューダ」のうち、防虫効果が1年間持続する引き出し用及びクローゼット用の製品がいずれも順調に売上を伸ばしましたが、その他の製品が伸び悩んだことから、売上高は微減となりました。



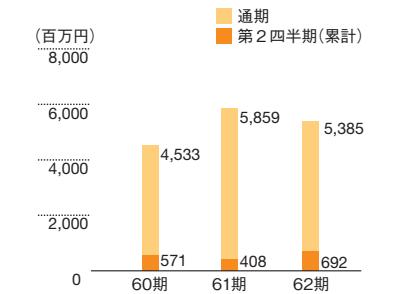
ハンドケア(手袋)部門

ハンドケア部門の売上高は、32億8百万円(前期比9.6%減)と減収となりました。当部門につきましては、薄手ゴム手袋や極薄ビニール手袋、消費者の衛生意識の高まりによる使いきり手袋が順調に推移しましたが、業務用ニトリルゴム手袋の売上が海外市場等で需要が減少したことなどから売上高は減少いたしました。



サーモケア(カイロ)部門

サーモケア部門の売上高は、53億85百万円(前期比8.1%減)と減収となりました。当部門につきましては、前シーズンの厳冬から一転して暖冬となった影響で売上高は減少いたしました。



連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当期 2009年3月31日現在	前期 2008年3月31日現在
資産の部		
流動資産	16,117	16,079
現金及び預金	6,143	6,007
受取手形及び売掛金	4,501	4,297
有価証券	599	493
たな卸資産	—	4,620
商品及び製品	3,789	—
仕掛品	116	—
原材料及び貯蔵品	354	—
繰延税金資産	332	362
その他	298	317
貸倒引当金	△19	△18
固定資産	11,498	12,312
有形固定資産	6,765	7,070
建物及び構築物(純額)	2,196	2,348
土地	3,319	3,392
その他	1,249	1,329
無形固定資産	472	457
投資その他の資産	4,260	4,785
投資有価証券	2,385	2,988
繰延税金資産	384	291
その他	1,500	1,546
貸倒引当金	△9	△41
資産合計	27,616	28,392

(単位:百万円)

	当期 2009年3月31日現在	前期 2008年3月31日現在
負債の部		
流動負債	6,881	7,580
支払手形及び買掛金	4,016	4,530
未払金	1,816	1,866
その他	1,047	1,184
固定負債	1,705	1,667
再評価に係る繰延税金負債	380	380
退職給付引当金	1,212	1,201
役員退職慰労引当金	95	84
その他	17	0
負債合計	8,587	9,248
純資産の部		
株主資本	19,476	18,883
資本金	7,065	7,065
資本剰余金	7,067	7,067
利益剰余金	16,399	15,833
自己株式	△11,056	△11,082
評価・換算差額等	△836	△257
その他有価証券評価差額金	220	541
土地再評価差額金	△549	△548
為替換算調整勘定	△506	△250
新株予約権	51	27
少数株主持分	338	489
純資産合計	19,029	19,144
負債純資産合計	27,616	28,392

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当期 自 2008年4月 1日 至 2009年3月31日	前期 自 2007年4月 1日 至 2008年3月31日
売上高	44,879	47,005
売上原価	26,279	26,886
売上総利益	18,599	20,118
販売費及び一般管理費	16,106	16,900
営業利益	2,492	3,218
営業外収益	519	679
営業外費用	1,023	1,126
経常利益	1,989	2,771
特別利益	9	7
特別損失	30	320
税金等調整前当期純利益	1,968	2,458
法人税、住民税及び事業税	785	1,013
法人税等調整額	82	96
少数株主利益	23	52
当期純利益	1,076	1,295

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当期 自 2008年4月 1日 至 2009年3月31日	前期 自 2007年4月 1日 至 2008年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,548	2,783
投資活動によるキャッシュ・フロー	△603	871
財務活動によるキャッシュ・フロー	△530	△6,588
現金及び現金同等物に係る換算差額	△79	6
現金及び現金同等物の増減額	335	△2,927
現金及び現金同等物の期首残高	5,184	8,111
現金及び現金同等物の期末残高	5,520	5,184

第62期決算説明会 動画配信中

当社ホームページでは、「2009年3月期(第62期)決算説明会」(2009年5月1日開催)の様態を動画配信しています。社長の鈴木が弊社の経営状況、戦略および活動について説明していますので、是非ご覧くださいませようお願いいたします。(2009年5月1日～2009年10月29日まで配信いたします)

<http://www.st-c.co.jp/ir/>

連結株主資本等変動計算書(要旨)

(自 2008年4月1日 至 2009年3月31日)

(単位:百万円)

当期	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等				新株 予約権	少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主 資本合計	その他 有価証券 評価差額金	土地 再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等 合計			
2008年3月31日残高	7,065	7,067	15,833	△11,082	18,883	541	△548	△250	△257	27	489	19,144
当 期 中 の 変 動 額	剰余金の配当		△480		△480							△480
	当期純利益			1,076		1,076						1,076
	自己株式の取得				△2	△2						△2
	自己株式の処分			△15	28	13						13
	連結範囲の変動			△15		△15						△15
	土地再評価差額金の取崩			0		0						0
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)						△321	△0	△256	△579	23	△151	△707
当期中の変動額合計	—	—	566	26	592	△321	△0	△256	△579	23	△151	△114
2009年3月31日残高	7,065	7,067	16,399	△11,056	19,476	220	△549	△506	△836	51	338	19,029

単体財務諸表

Non-Consolidated Financial Statements

単体貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当期 2009年3月31日現在	前期 2008年3月31日現在
資産の部		
流動資産	12,763	12,703
固定資産	12,036	12,511
資産合計	24,800	25,215
負債の部		
流動負債	6,542	7,163
固定負債	1,666	1,621
負債合計	8,209	8,784
純資産の部		
株主資本	16,869	16,410
資本	7,065	7,065
資本剰余金	7,067	7,067
利益剰余金	13,792	13,359
自己株式	△11,056	△11,082
評価・換算差額等	△329	△7
その他有価証券評価差額金	220	541
土地再評価差額金	△549	△548
新株予約権	51	27
純資産合計	16,591	16,431
負債純資産合計	24,800	25,215

単体損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当期 自 2008年4月 1日 至 2009年3月31日	前期 自 2007年4月 1日 至 2008年3月31日
売上高	43,341	45,232
売上原価	26,648	27,098
売上総利益	16,692	18,133
販売費及び一般管理費	15,074	15,761
営業利益	1,618	2,372
営業外収益	684	840
営業外費用	801	1,021
経常利益	1,500	2,191
特別利益	8	7
特別損失	29	320
税引前当期純利益	1,478	1,877
法人税、住民税及び事業税	506	713
法人税等調整額	43	84
当期純利益	928	1,080

単体株主資本等変動計算書(要旨)

(自 2008年4月1日 至 2009年3月31日)

(単位:百万円)

当期	株主資本										評価・換算差額等			新株 予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益 準備金	利益剰余金				自己 株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価 差額金	土地 再評価 差額金	評価・換算 差額等 合計		
		資本 準備金	資本 剰余金 合計		買換資産 圧縮 積立金	別途 積立金	繰越利益 剰余金	利益 剰余金 合計							
2008年3月31日残高	7,065	7,067	7,067	549	29	10,260	2,520	13,359	△11,082	16,410	541	△548	△7	27	16,431
買換資産圧縮積立金の取崩					△0		0								
剰余金の配当							△480	△480		△480					△480
当期純利益							928	928		928					928
自己株式の取得									△2	△2					△2
自己株式の処分									△15	△15					13
土地再評価差額金の取崩							0	0		0					0
株主資本以外の項目の 当期中の変動額(純額)											△321	△0	△322	23	△299
当期中の変動額合計	-	-	-	-	△0	-	433	433	26	459	△321	△0	△322	23	160
2009年3月31日残高	7,065	7,067	7,067	549	28	10,260	2,954	13,792	△11,056	16,869	220	△549	△329	51	16,591

※単体財務諸表は連結財務諸表と数字が大きく乖離していませんので、限られた紙面の重要性を鑑み63期より掲載を省略いたします。
ご覧になりたい方はHPにて決算短信をご確認ください。

株式の状況

(2009年3月31日現在)

Stock Information

株式の総数

(ア)発行可能株式総数	96,817,000株
(イ)発行済株式の総数	29,500,000株
(ウ)単元株式数	100株

株主数

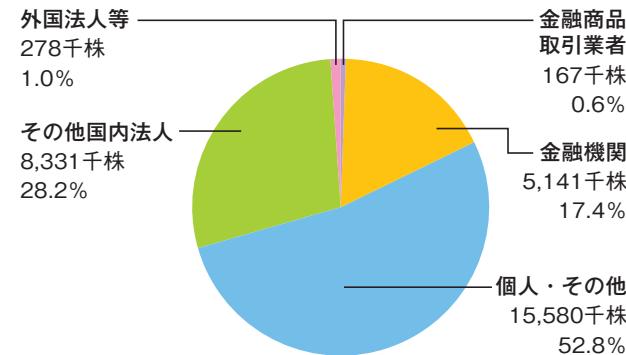
8,341名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社シャルダン	5,727	19.4
日本生命保険相互会社	1,671	5.7
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	884	3.0
鈴木 喬	812	2.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	681	2.3
日本トラスティサービス信託銀行株式会社(信託口4G)	632	2.1
鈴木 明雄	470	1.6
有限会社キャレーヌ	433	1.5
株式会社損害保険ジャパン	416	1.4
有限会社鈴木誠一商店	416	1.4

(注)1.当社は自己株式7,668千株(26.0%)を有しております。
2.みずほ信託退職給付信託銀行株式会社 みずほ銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社を名義人とする884千株は、株式会社みずほ銀行が保有する当社株式を退職給付信託として設定した同行の信託財産であります。

所有者別株式分布状況



会社概要

(2009年3月31日現在)

Corporate Data

会社の概要

設立	1948年8月31日
資本金	7,065,500千円
従業員数	従業員 ※臨時従業員 連結 619名 159名 単体 377名 72名 ※平均人員、パートタイマー・嘱託を含む

事務所

本社	〒161-8540 東京都新宿区下落合1-4-10 TEL. 03-5906-0731(代表)
支店	札幌、仙台、関東(埼玉)、東京、名古屋、 大阪、広島、福岡
営業所	横浜、金沢、高松
工場	福島、埼玉、九州(福岡)
R&Dセンター	東京

役員

(2009年6月18日現在)

取締役

取締役会会長(指名委員)	鈴木 喬
取締役(社外)(報酬委員長・監査委員長・指名委員)	梶原 保
取締役(社外)(指名委員長・報酬委員)	野呂 正則
取締役(社外)(監査委員・指名委員)	前原 輝幸
取締役(社外)(監査委員)	宮川美津子
取締役(社外)(監査委員)	溝呂木 修
取締役(社外)(監査委員)	鈴木 幹一
取締役(指名委員)	小林 寛三
取締役(報酬委員)	嶋田 洋秀

執行役

代表執行役社長	鈴木 喬
専務執行役	グループ事業戦略担当兼海外事業戦略担当 小林 寛三
常務執行役	製造部門担当 影浦 憲章
常務執行役	コーポレートスタッフ部門担当 嶋田 洋秀
執行役	営業本部長 加藤 孝彦
執行役	営業本部副本部長兼大阪支店長 城ノ戸真一
執行役	関係会社担当
執行役	兼エステートレーディング株式会社代表取締役社長 北原 雅美
執行役	国際部門担当 早坂 敬一